

多高通信

第219号 令和6年1月27日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

東日本大震災メモリアルday

1月19日(金)、20日(土)の2日間、東日本大震災の経験と教訓を全国各地・後世に継承し、全国の高校生が自分の地元地域の防災・減災に関する問題や課題を焦点化していくきっかけを作ることを目指し、本校が主催する「東日本大震災メモリアルday2023」を、本校を会場に開催しました。本校1・2年生とボランティアの3年生が参加し、県内の高等学校4校の参加の他、全国14都道府県から21校の参加があり、総勢600名を数える大規模な行事となりました。

1日目は、開会行事の後に、参加校の学校紹介や東北大学災害科学国際研究所の佐藤翔輔准教授による基調講話、そして参加者によるグループワークが行われました。そして2日目には体育館を会場にしたポスターセッションを行いました。各校の探究活動成果について発表し、参加校生徒の探究力・議論力・統合力の向上を図り、防災・減災に貢献する意欲を高めることができました。午後には本校災害科学科の生徒がナビゲートする「津波伝承まち歩きツアー」が行われました。この2日間の日程をとおして、参加した生徒達は、防災・減災に関するお互いの取組や



研究内容、地域に根ざした活動など、大いに刺激し合い、深く交流することができました。



2学年

「選挙制度に関する講座」実施

1月18日(木)に、多賀城市選挙管理委員会事務局及川正規氏とNPO法人ドットジェイピーの学生の方々に講師を依頼して「選挙制度に関する講座」を実施しました。選挙の意義や制度について学び、より良い社会の実現に協働的に参画するために必要な



資質や能力の向上、地域社会のよき担い手としてコミユニティーに積極的に関わりながら自己実現を図り自らの生活を豊かに送るために必要な資質・能力などの育成を図る活動として実施しました。授業では、政治家はどんな活動をするべきか、どんな街になれば暮らしやすく幸せになれるのかなど意見を出し合いました。また、実際に投票箱に一票を投じ選挙制度への理解を深めることができました。

生徒の感想

◎自分も色々あいまい知識しかなかったのですが、来年から選挙で投票できるようにになるので、政治の知識も深められればいいと思います。

◎実際に投票を体験できる授業がある

と、選挙がどういう雰囲気か予想しやすかったので

選挙にも行きやすくなると思います。

票を体験できる授業がある、と、選挙がどういう雰囲気か予想しやすかったので選挙にも行きやすくなると思います。



軽音楽部

1年生大会 準グランプリ受賞!

12月16日(土)に専門学校デジタルアーツ仙台において第9回宮城県高等学校対抗バンド合戦1年生大会が行われ、軽音楽部での部内選考を経て出場した1年生バンドCleanBerry(クランベリー)が、KANABOONの「コピー・シルエット」を披露しました。観客が見守るなか、高い演奏力と本校伝統の熱いライブパフォーマンスを見せ、1年生大会で準グランプリを受賞しました。

1年5組 和田 倅多(多賀城第二中出身)

今回の1年生大会は私達にとって多くの経験を得られた大会でした。本番は緊張して出来なかったこともありましたが、観客の皆さんに魅せるためのパ

フォーメーション、また、自分たち楽しめるような演奏を出来たと思います。グランプリは受賞できませんでしたが、この悔しさをバネにこれから練習に励んでいきたいと思っています。



家庭部

地産地消お弁当コンテスト賞!

10月に宮城大学太白キャンパスで行われた令和5年度高校生地産地消お弁当コンテストで家庭部2年の門脇楓華さんと井上夏希さんが考案した「元気チャージ弁当」が宮城県の恵みをつめこみました。2月15日賞を受賞し、2月15日からみやぎ生協各店でそのお弁当が販売されることになりました。

お弁当の中身は、たらこ・ねぎ・卵焼き・鮭・ほうれん草を使用したおにぎらず、野菜がたっぷり入ったハンバーグ、パプリカと笹かまのカラフル炒め、しらすときゅうりの酢の物で、どれも2人のこだわりが詰まったお弁当に仕上がりました。販売価格は498円(税抜き)とお求めになりやすい値段です。ぜひ多くの皆様にご試食いただき、身も心もさらに元気になっていただければと思います。



コンテスト当日の作品↑



販売用お弁当写真↑